

「RADIEX in Fukushima」

除染・廃棄物技術協議会 第3回シンポジウム

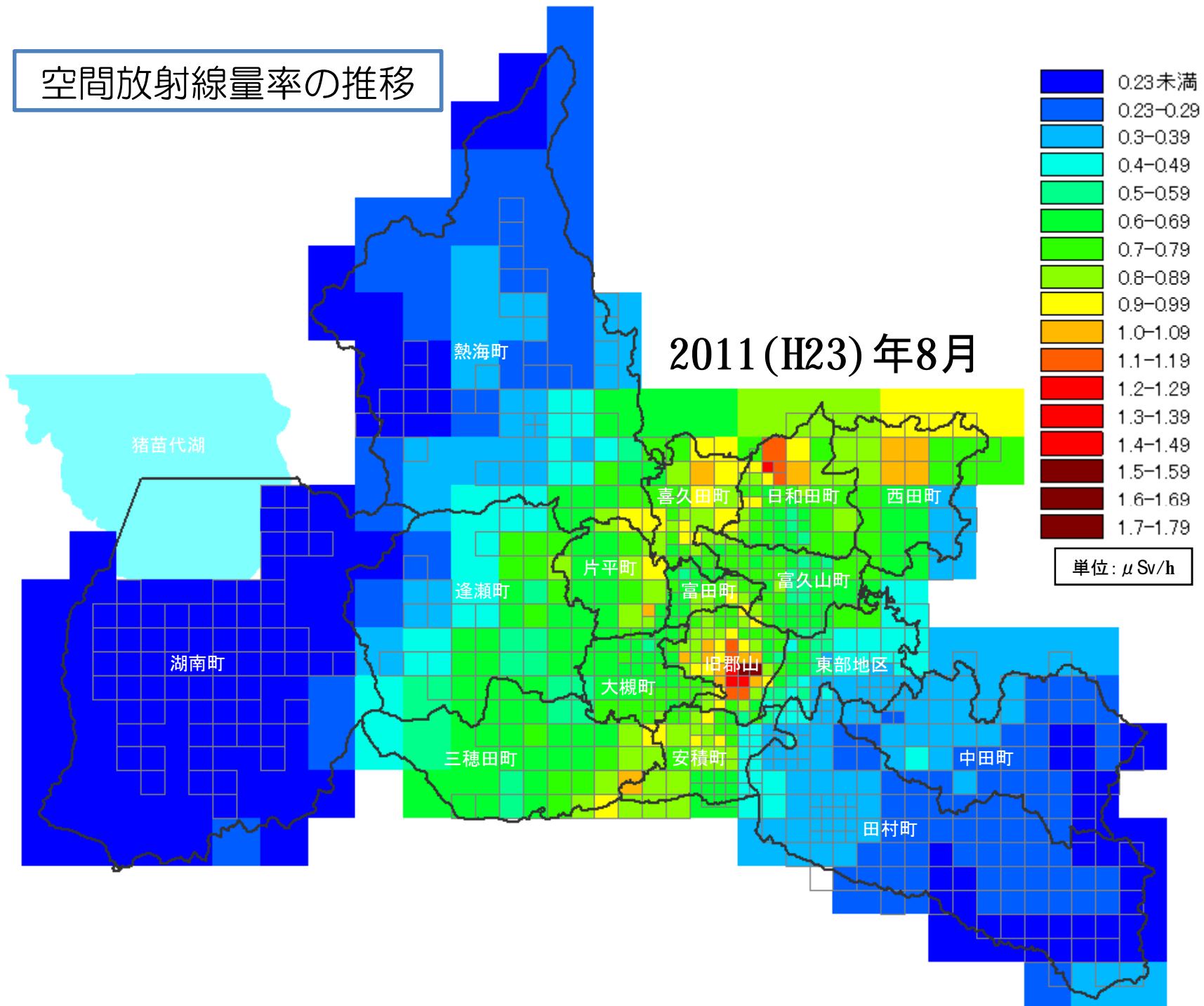
郡山市

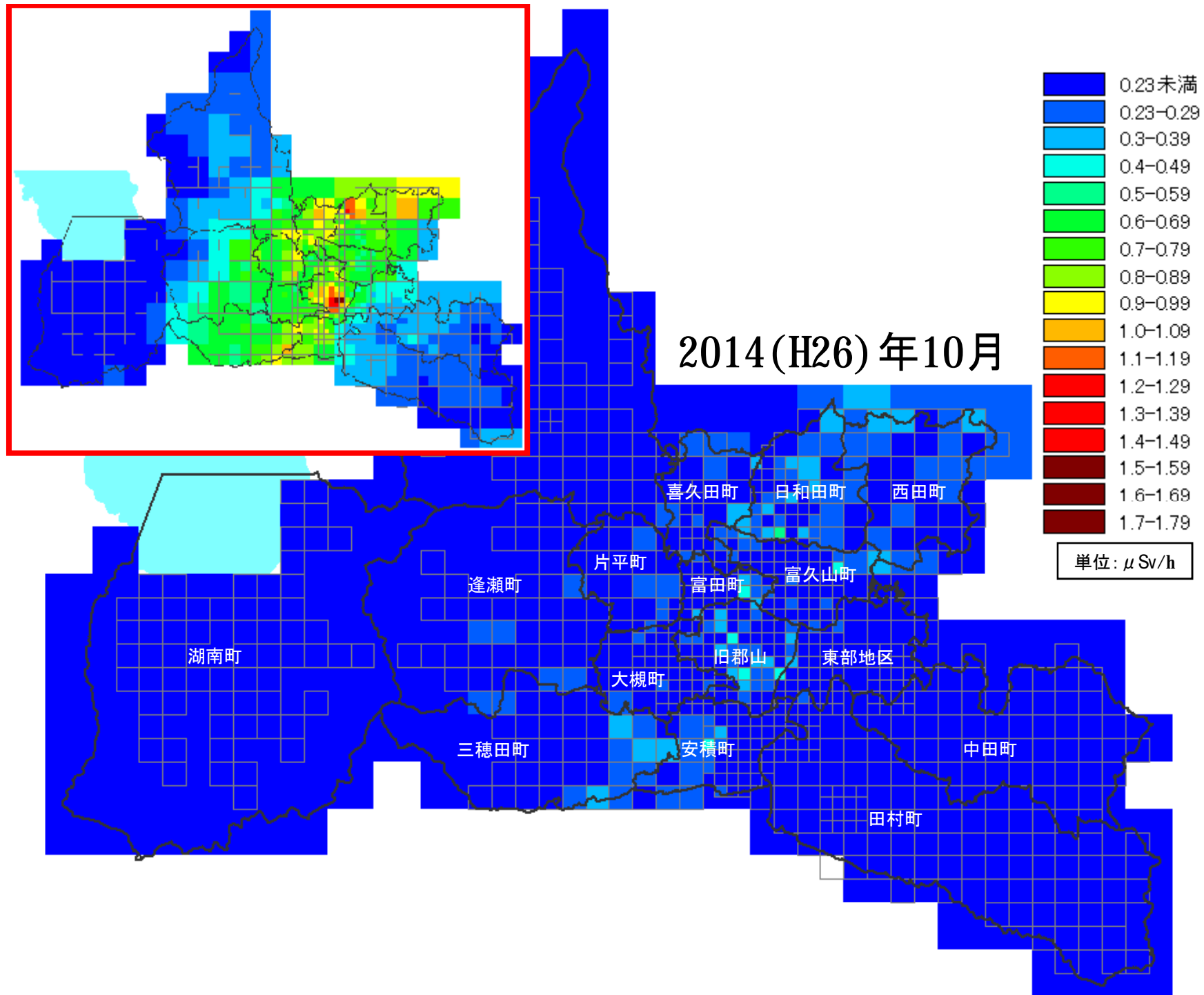
除染の進捗状況と今後の課題

平成26年10月30日



空間放射線量率の推移



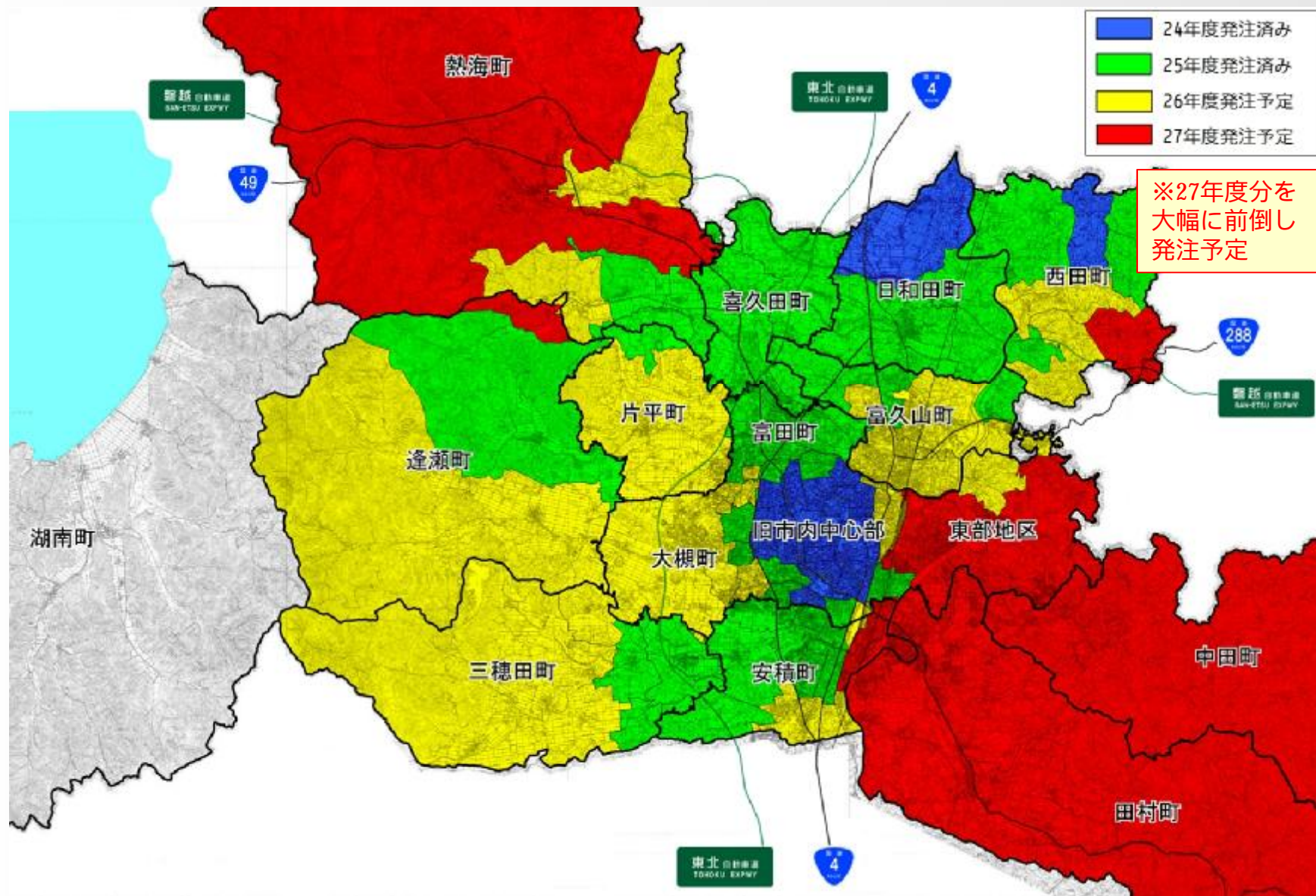


取組の経緯

2011(平成23)年4月～	<u>全国に先駆けて</u> 保育所、幼稚園、小・中学校、公園の表土除去
2011(平成23)年12月	除染計画の策定（第1版） (湖南地区を除く約104,000件の除染計画)
2012(平成24)年2月	住宅のモデル除染 (池ノ台地区)
2012(平成24)年6～8月	一般住宅面的モデル除染 (池ノ台地区107件⇒ <u>除染手法の確立</u>)
2012(平成24)年10月～	一般住宅等除染業務の本格発注
2014(平成26)年3月	除染計画の改定（第4版）

一般住宅等除染の進捗状況

2014(平成26)年4月現在



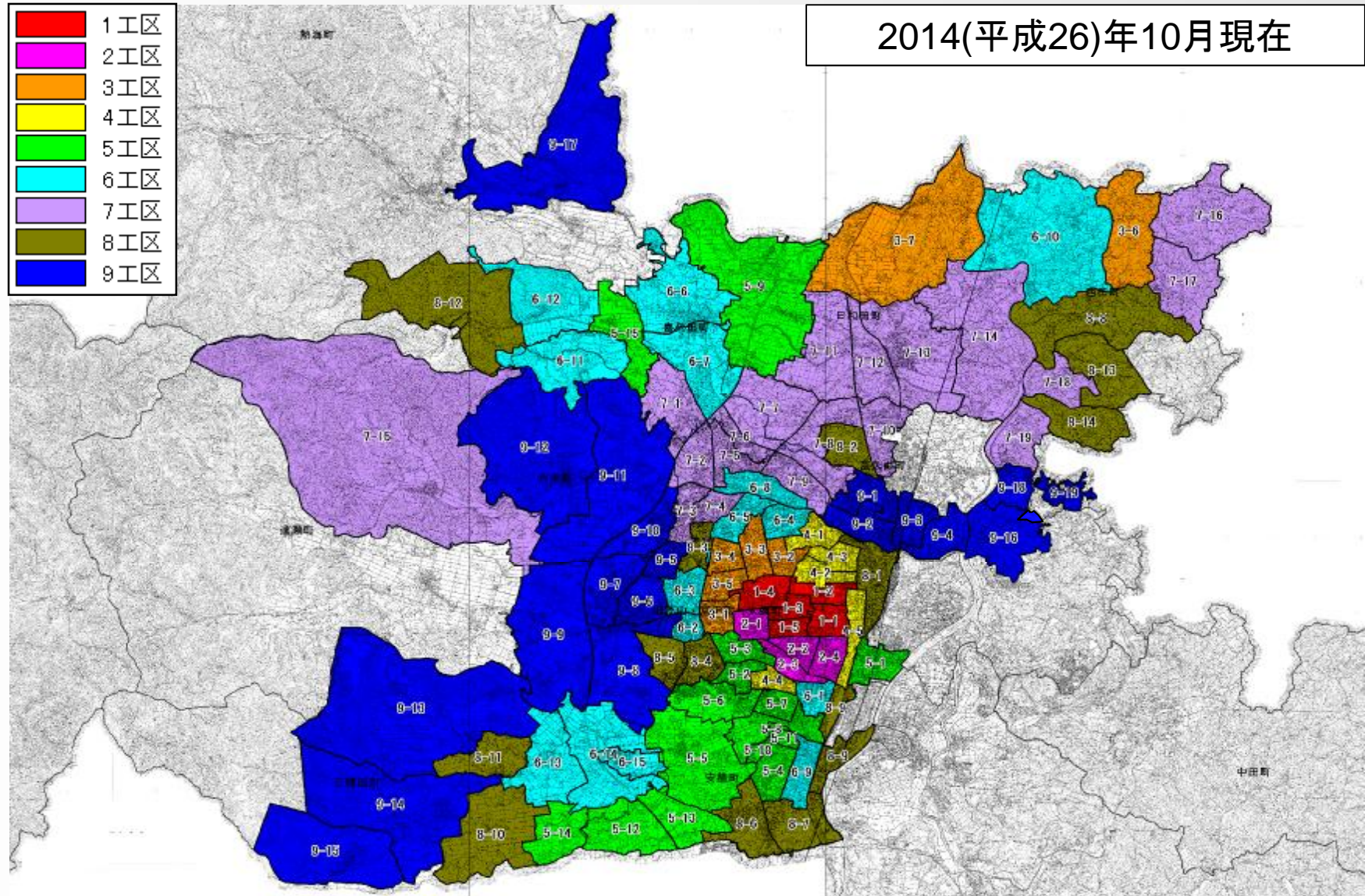
一般住宅等除染発注実績・計画

年 度	発 注 件 数
2012・2013(平成23・24)	19,141件
2013(平成25)	29,028件
2014(平成26)	約30,000件
2015(平成27)	約25,000件
計	約104,000件

一般住宅等除染の発注工区図

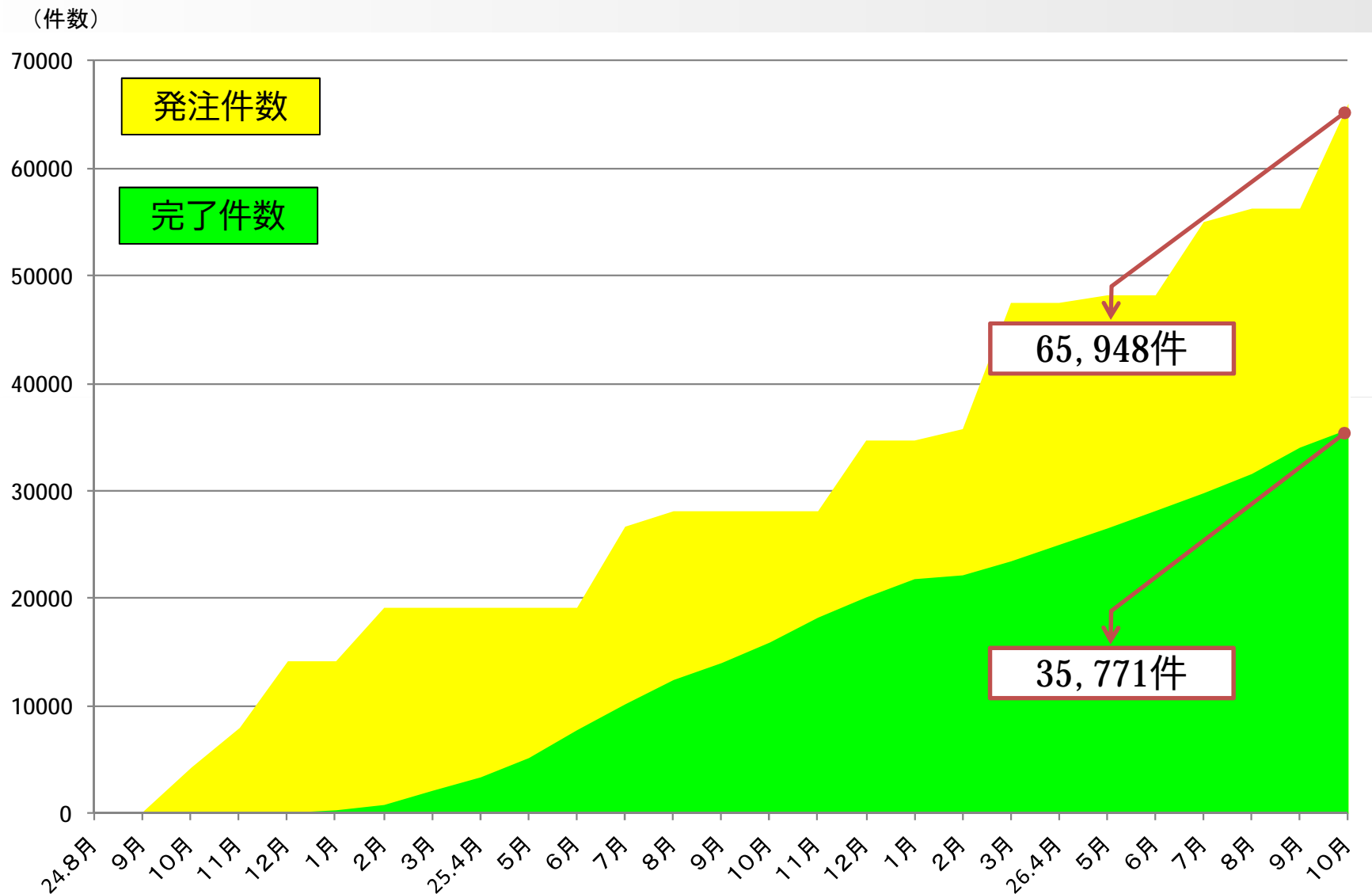


2014(平成26)年10月現在



一般住宅等除染の実績

2014(平成26)年10月23日現在



除染情報ステーション



■ 大型タッチパネルコーナー

- ・メッシュマップの閲覧
- ・動画の視聴 など

■ 展示コーナー

- ・放射線測定器
- ・0.23 μ SV/hの説明ボード
- ・展示パネル など

大型タッチパネルコーナー

※英語表記を追加



- 放射線量の推移についてのグラフ、動画
- 仮置場の構造と安全性についての動画
- 一般住宅等除染の発注計画、進捗状況 など

パネル展示（除染の流れ）



放射線測定器の展示



課題①

■放射線に対する市民の不安の払拭

$$1\text{mSv} = 0.23\ \mu\text{Sv/h}$$

$$(\text{空間放射線量} - 0.04) \times (8\text{h} + 16\text{h} \times 0.4) \times 365\text{日} \div 1,000$$



個人の行動で一様ではない

市民の放射線に対する理解を深めるリスクコミュニケーション

※国において、この算式の意味を広く世界、国民に周知することが望まれる

課題②

■ 除染目標の設定

2015(平成27)年度までに年間追加被ばく線量1mSv未満
除染直後の達成目標値 《従前の3割～5割程度の低減》

雨樋 低減率 72.8%

1,447cpm \Rightarrow 394cpm

表面汚染密度(1cm)
(測点数 4,367件)

アスファルト 低減率 34.0%

0.47 μ Sv/h \Rightarrow 0.31 μ Sv/h

空間線量率(1m)
(測点数 4,064件)

砂利面 低減率 52.5%

0.59 μ Sv/h \Rightarrow 0.28 μ Sv/h

空間線量率(1m)
(測点数 3,811件)

芝 低減率 55.1%

0.78 μ Sv/h \Rightarrow 0.35 μ Sv/h

空間線量率(1m)
(測点数 347件)

土面 低減率 49.3%

0.67 μ Sv/h \Rightarrow 0.34 μ Sv/h

空間線量率(1m)
(測点数 7,481件)

コンクリート 低減率 38.1%

0.42 μ Sv/h \Rightarrow 0.26 μ Sv/h

空間線量率(1m)
(測点数 7,087件)

保管場所

空間線量率(1m)

地下保管 \rightarrow 0.30 μ Sv/h

地上保管 \rightarrow 0.35 μ Sv/h

※雨樋については、空間放射線量(単位： μ Sv/h)ではなく、放射性物質による表面汚染密度(単位：cpm)を測定しています。

課題③

■ 保管場所の確保

除去土壌等の保管量

約20万 m^3 （2014(平成26)年3月31日現在）

※除染の進捗とともに、この数倍の除去土壌等が発生

- 一般住宅等においては敷地内に、原則、現場保管
- 仮置場については、国道・県道・市道の除染で発生した除去土壌等の保管場所の確保を優先

今後においても、一ヶ所でも多く仮置場等の確保が必要

《具体的な保管事例》

- ・ 市役所本庁舎駐車場
- ・ 陸上競技場北側駐車場
- ・ 荒池西公園
- ・ 香久池公園
- ・ 県農業総合センター
- ・ 県林業研究センター
- ・ その他民有地複数箇所

課題④

■ 中間貯蔵施設への輸送（除染の第2ステージ）

(1) 現場保管（地下埋設・地上保管）

※大半が地下保管

一般住宅等 18,881箇所

保育所、幼稚園、

小中学校ほか施設 233箇所

公園等 490箇所



2014(平成26)年3月31日現在

保管容量 約20万 m^3

課題④

■ 中間貯蔵施設への輸送（除染の第2ステージ）

(2) 積込場の確保と効果的・効率的な掘起しの実施

最終的には、約100万 m^3 前後の
除去土壌等が発生見込み



《ケース1》

仮置場からの直行輸送

《ケース2》

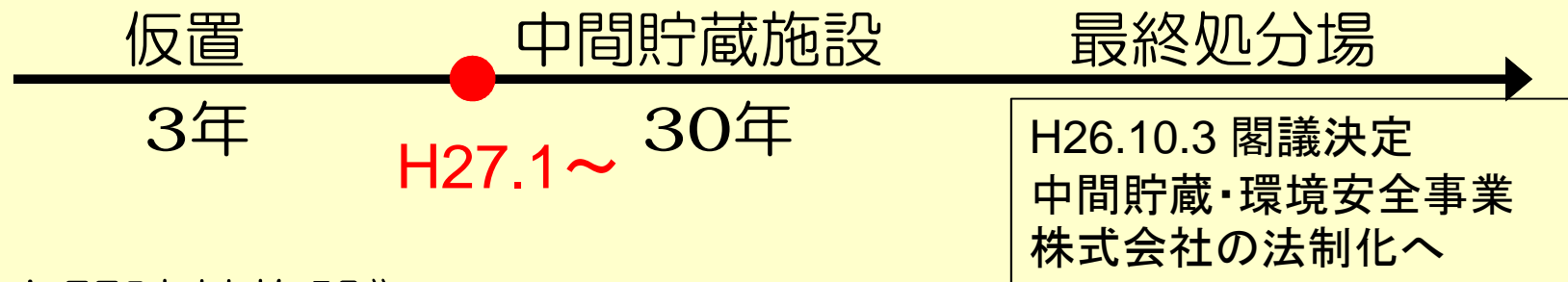
積込場からの集約輸送

※郡山市はケース2に大半が該当見込み

課題④

■ 中間貯蔵施設への輸送（除染の第2ステージ）

(3) 環境省のロードマップ



《中間貯蔵施設》

面積 約16万k m²

(双葉町 約5万km² 大熊町 約11万km²)

除去土壌等発生総量

1,870万m³ ~ 2,815万m³ (減容前)

1,601万m³ ~ 2,197万m³ (減溶後)

(※2016年9月18日 環境省輸送検討会資料による)

ご静聴、ありがとうございました

今後も皆様には、郡山市はもとより

福島の復興と再生に向けて

ご協力をよろしくお願いいたします